XEAM
ELECTRIC MOBILITY

SUPER SOCO

CUmini+

シーユーミニプラス

ユーザーマニュアル

Ver.01
2021 年 5 月発行

ユーザーインストラクション

安全を確保するため、乗る前にこのマニュアルを注意深く読み、以下の要件を順守確認してください。

■ このマニュアルの情報を完全に理解してください。これらは関連する手順、注意事項、警告を含みます。
■ CUmini+の操作とトラブルシューティングを完全に理解してください。
■ CUmini+に貼り付けられた警告ラベル内容に十分注意してください。
■ このマニュアルは適切に保管してください。

MSソリューションズは、不正な改造、オリジナルのスペアパーツの不適切な取付または車両の性能と安全性に影響を与えるコンポーネントの取付が起因する一切の責任を負いません。

セーフティーインストラクション

あなたとあなた以外の安全を確保するために、次の事項を必ず守ってください。

■ 該当免許を所持しない人に車両を貸さないでください。

■ 走行車線を守って運転してください。法定速度を守って運転してください。

■ 運転に影響を与える可能性のある薬物を服用した後や、アルコールを飲んだり、肉体的に気分が悪いときは乗らないでください。

■ 法律や交通規制、交通標識を順守し、周囲の状況を常に確認し、危険を積極的に回避してください。

■ 雨や雪の場合は、制動距離が長くなります。速度を落としてください。悪天候の状態ではできるだけ運転しないようにしてください。

■ ヘルメットなどの安全装備と、必要に応じて手袋やブーツなどの適切な保護具を着用してください。

■ あなたとあなた以外の安全を確保するために、適切にライトを使用してください。ハイビームを継続して使用すると、対抗車種側の車両や歩行者に視覚障害を引き起こし、安全な運転に影響を与えます。

■ 乗車後はすぐに電源を切り、キーを抜いてください。事故を防ぐために、子供が近づかない様にしてください。

■ 毎回乗車前に点検を行い、ライト、ブレーキ、トレッド、タイヤの圧力を確認し、他の部品の緩みや異音を確認し、定期的に販売店にメンテナンスを依頼してください。

セーフティーインストラクション

■ CUmini+の取り扱いについて、以下の内容に注意してください。

a) 建物のロビー、避難階段、通路および非常口に車両を駐車しないでください。

b) 建物の中に駐車して充電しないでください。

c) 充電中は周囲に可燃物を置かないでください。

d) 満充電になったら速やかに充電器を外してください。

e) バッテリーの正しい使用法と警告内容を確認してください。

f) 使用済みバッテリーは、許可なく分解しないでください。廃棄についてはMSソリューションズに連絡してください。

g) 充電器の安全な使用方法と警告内容を確認してください。充電器を交換するときは、該当バッテリーの専用充電器を使用してください。

h) 洗車に関する注意事項を確認してください。

■ 乗る前に車両を確認してください。異常がある場合は、販売店へ修理の連絡をしてください。

a) 電源や灯火類の状態を確認します。

b) 前後のブレーキが正常に動作するか確認します。

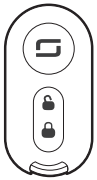
c) ハンドルと前後のタイヤが固定されているか確認します。

d) タイヤの空気圧を確認します。

e) 反射板に汚れや破損がないか確認します。

- 01 -

同梱品の確認

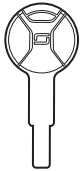


×2

リモートコントロールユニット

×1

ユーザーマニュアル

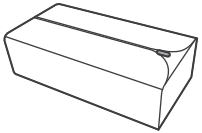


×2

キー

×1

スパナ（ミラー用）

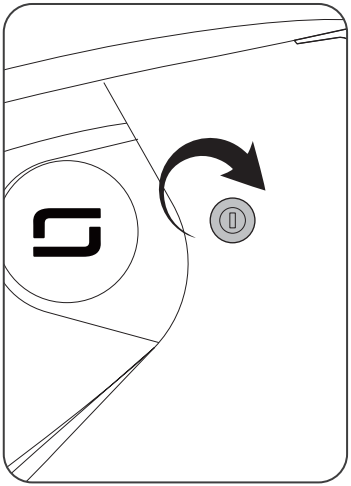


×1

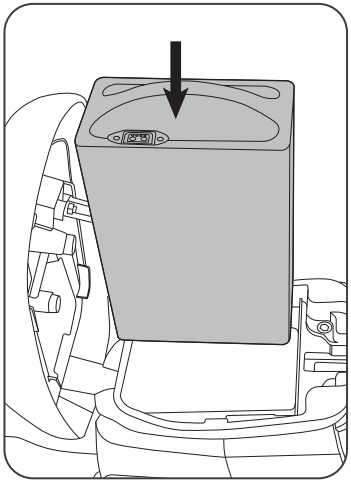
充電器

- 02 -

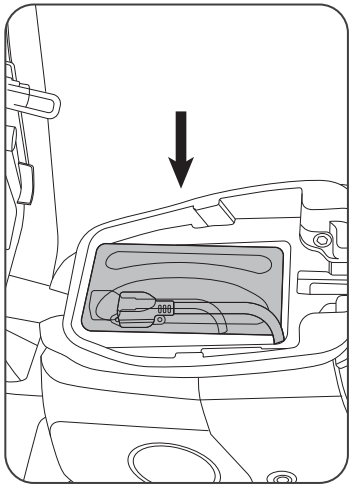
バッテリーの取り付け



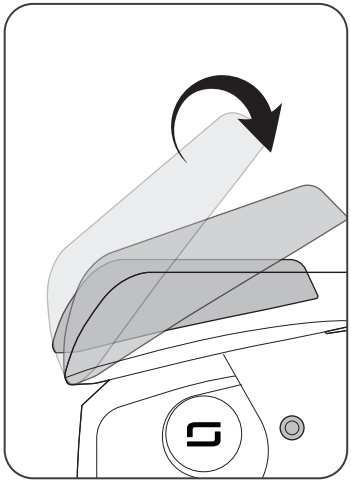
❶ キーでシートを開きます。



❷ 充電されたバッテリーをセットします。



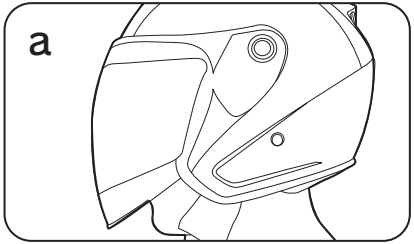
❸ コネクターをしっかり差し込みます。



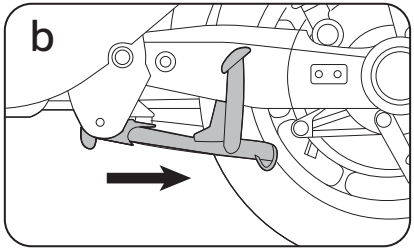
❹ シートを閉じます。

- 03 -

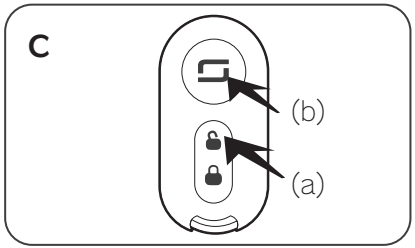
走行手順



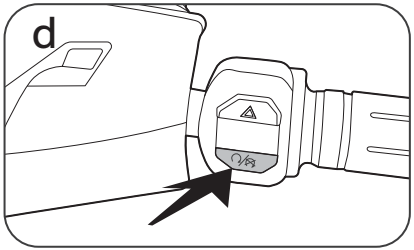
❶ ヘルメットをかぶります。



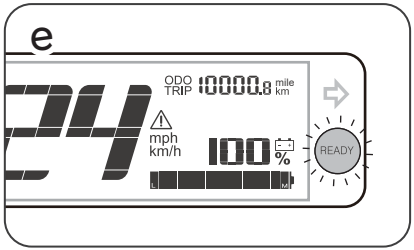
❷ 車両を起し、センタースタンドを格納します。



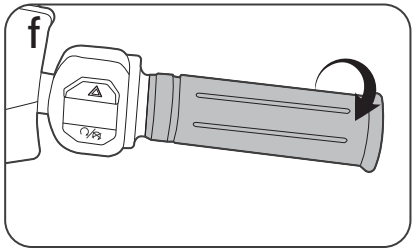
❸ リモコンキーのロック解除ボタン(a)を押し、電源オン/オフボタン(b)を押して車両を起動します。



❹ パーキングボタンで駐車状態を解除し、ブレーキレバーを握ります。



❺ READYランプが点灯します。



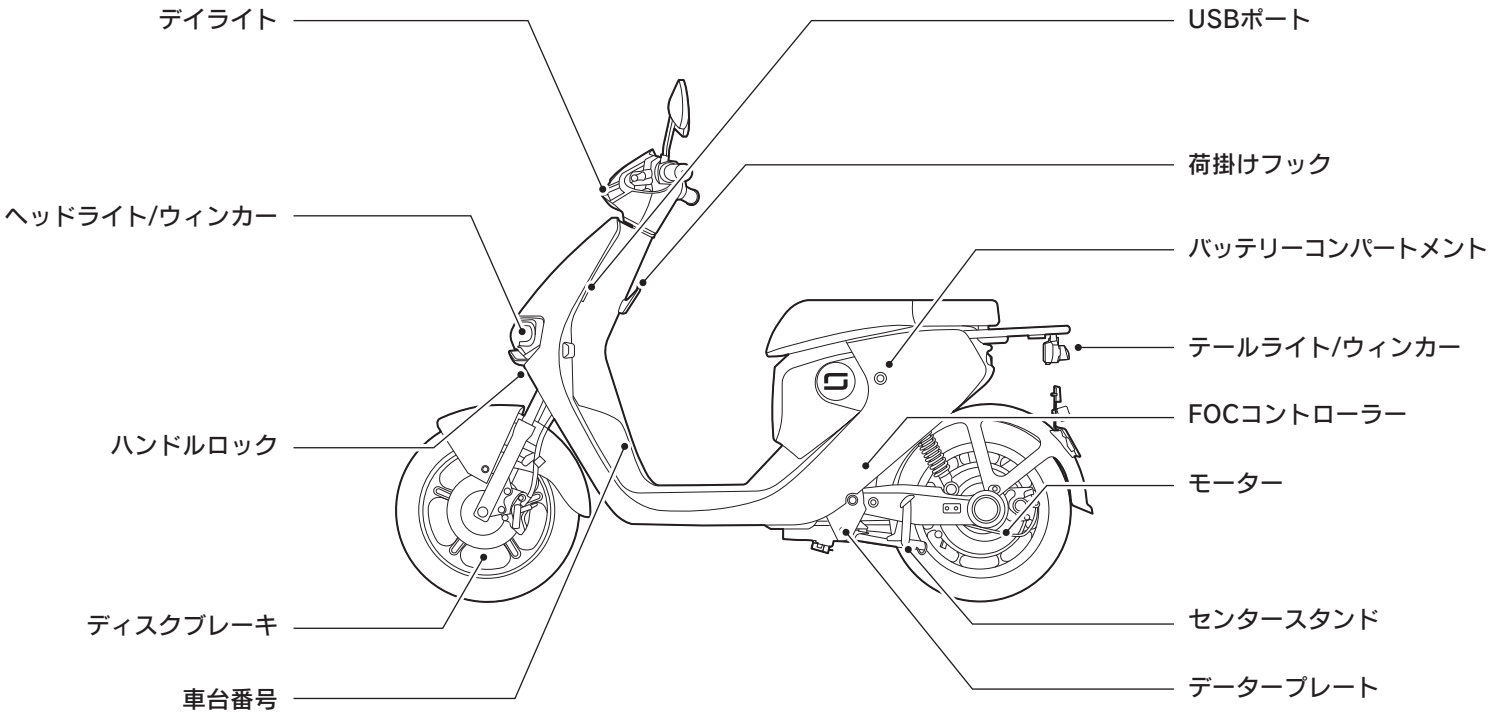
❻ スロットルを開けば車両は動きます。

目次

コンポーネントとパーツの説明 ―――― 08
操作ガイド ―――― 11
走行に関する項目 ―――― 14
バッテリーに関する注意事項 ―――― 17
メンテナンス ―――― 21
一般的な問題とトラブルシューティング ―――― 22

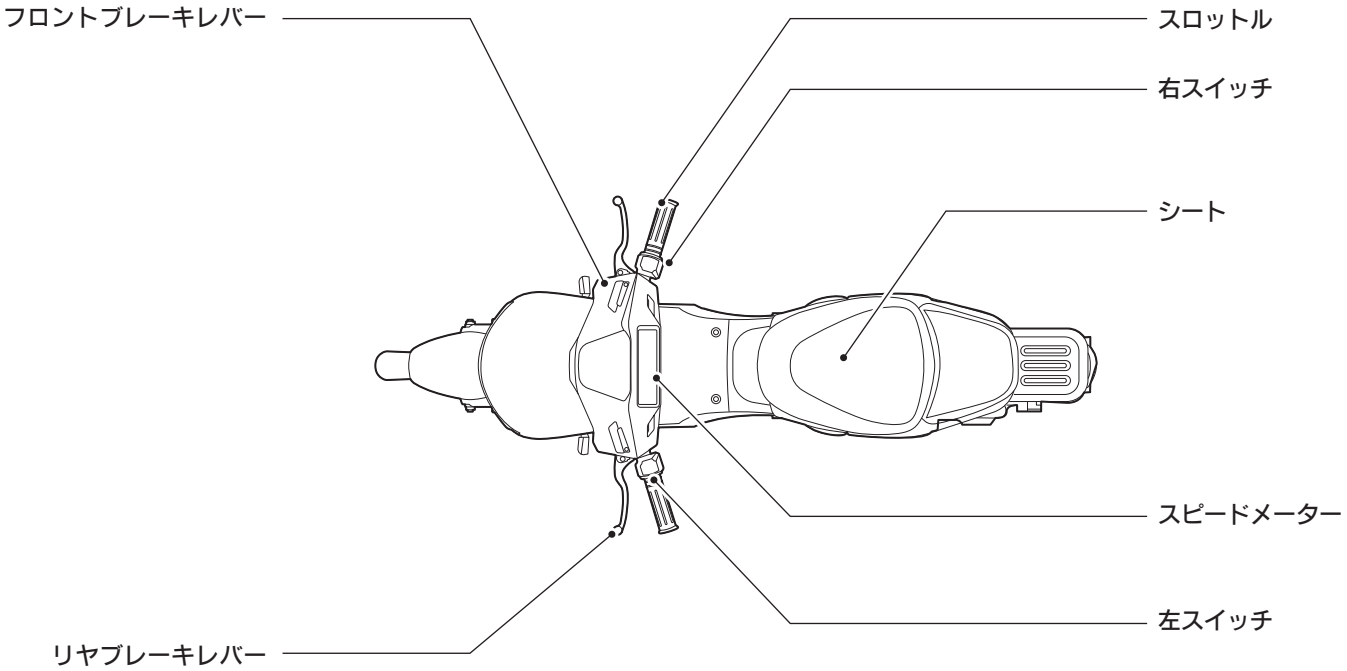
コンポーネントとパーツの説明

a. 説明図



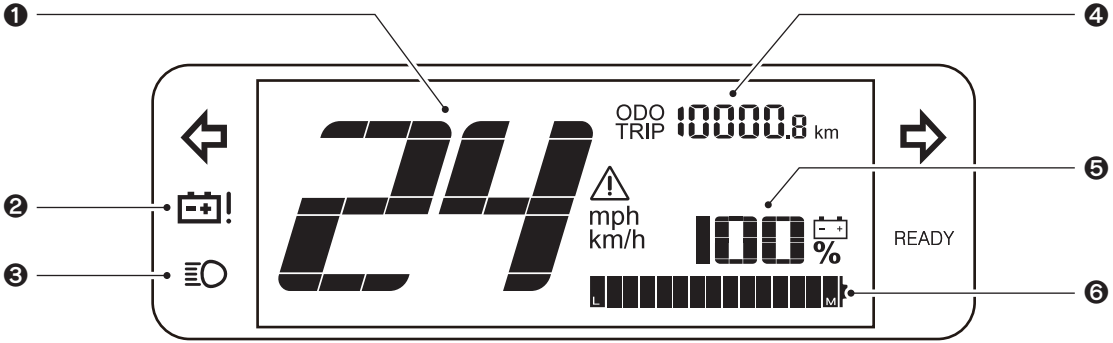
コンポーネントとパーツの説明

a. 説明図



コンポーネントとパーツの説明

b. スピードメーター内表示



❶ スピード/エラーコード
現在の車速を表示します。
エラー表示が点灯している場合は、エラーコードが表示されます。

❷ バッテリーステータス
充電状態とバッテリー低下ステータスを表示します。

❸ ハイビームインジケーター
ハイビーム時に点灯されます。

❹ オドメーター/トリップメーター
ディスプレイにオドメーター/トリップメーターが表示されます。
電源オン時にオドメーターが表示され、その後トリップメーターに切り替わります。

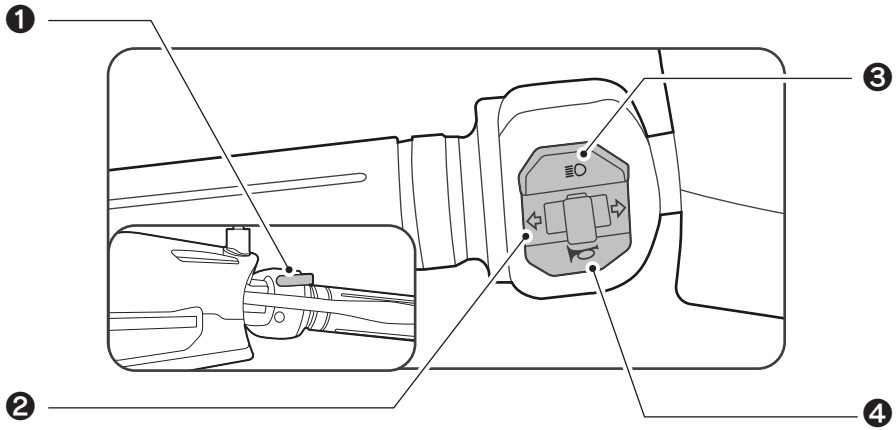
❺ SOC%
バッテリー残量が%表示されます。
※SOCとは、「State Of Charge」の略で、充電率または充電状態を表す指標です。

⚠ 警告表示 / バッテリーランプ
バッテリーが15%以下になると点滅します。

❻ SOCバー
バッテリー残量のバーが表示されます。

操作ガイド

a. 左スイッチ



❶ フィクスボタン
電源起動後、スロットルエラーなどが発生した場合に、
フィクスボタンを押すとゆっくりと走行することができます。

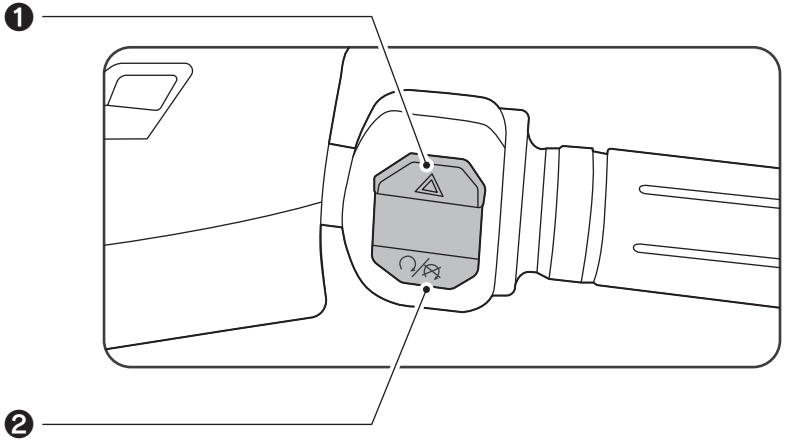
❷ ウィンカースイッチ
中央の位置に戻すとOFFになります。

❸ ハイ / ロービームスイッチ
押すことで交互に切り替わります。

❹ ホーンボタン

操作ガイド

b. 右スイッチ



❶ ハザードスイッチ

ハザードランプが点滅します。

❷ パーキングボタン

ボタンを押すごとに、駐車状態と走行状態が切り替わります。
駐車状態を解除し、ブレーキレバーを握ると、メーターのREADYランプが点灯して走行状態となります。
※駐車状態(ボタンが押し込まれた状態)

操作ガイド

c. リモコン操作

有効距離内でボタンをタップすることで、車両を簡単にロックまたはロック解除できます。

❶ 電源オン/オフ ボタン

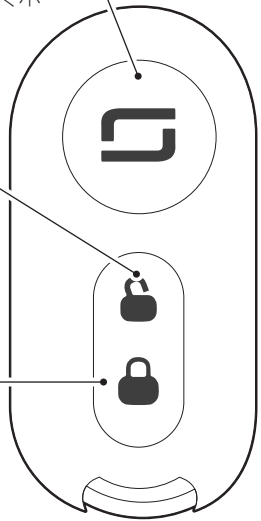
車両のロック解除後、ボタンを軽く押すと車両は電源オン状態になります。
電源オンの状態で、静止しているときに、軽くボタンを押すと電源オフ状態になります。

❷ ロック解除 ボタン

ボタンを押すとロック解除状態になります。
長押しするとシートロックを解除します。

❸ ロック ボタン

電源オフ状態でボタンを押すとロック状態になります。



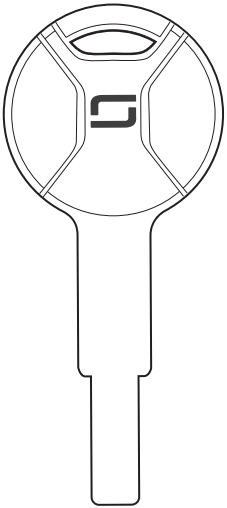
d. キー操作

・ハンドルロック

ハンドルバーを左に切り、キーを挿入して右へ鍵を回します。解除は左へ回します。

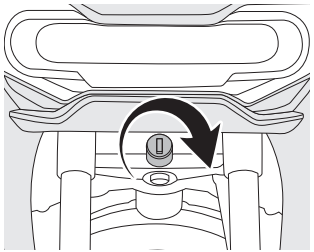
・シートロック解除

キーを挿入して右へ鍵を回します。シートロックを解除します。

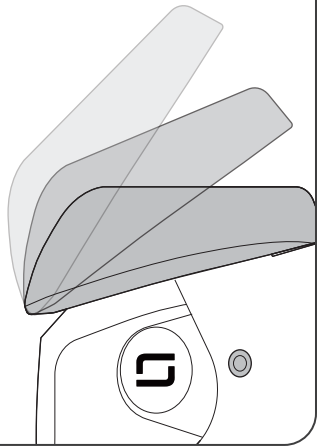


ハンドルロック

ヘッドライトの下部



シートロック解除



走行に関する項目

a．乗車前点検項目

乗車前に下記項目の点検を実施してください。

❶ ハンドルがしっかり固定され、左右に転舵してもスムーズに動くこと。

❷ 左右のハンドルスイッチがきちんと作動すること。

❸ スロットルがスムーズに回り、きちんと作動すること。

❹ タイヤの空気圧を確認すること。
規定空気圧(1名乗車)…(前)175～200kPa、(後)200～225kPa (最大空気圧は280kPa)

❺ タイヤ表面をチェックし、ひび割れ、損傷、異物の噛み込みがないこと。

❻ タイヤの溝深さが十分残っていること。スリップサインが出ていないこと。

❼ 電源ONの状態でスピードメーター内に警告灯の点灯有無。

❽ バッテリー容量が十分かどうか。

❾ 灯火器が正しく機能するか。

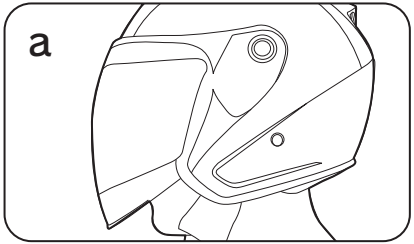
❿ ホーンが正しく機能するか。

⓫ ミラーの清掃、視界の調整。

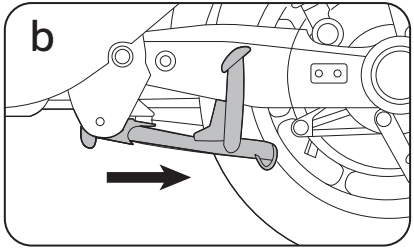
⓬ ブレーキオイル量およびブレーキシステムの正常な作動。

走行に関する項目

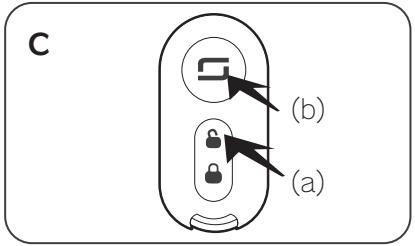
b．乗車方法



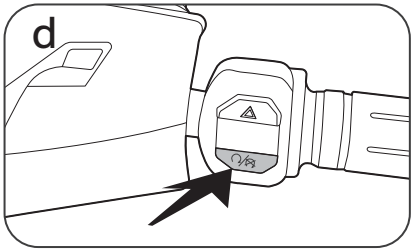
❶ ヘルメットをかぶります。



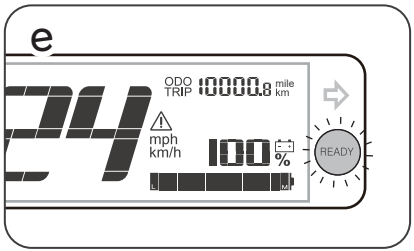
❷ 車両を起し、センタースタンドを格納します。



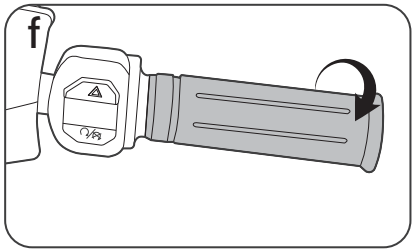
❸ リモコンキーのロック解除ボタン(a)を押し、電源オン/オフボタン(b)を押して車両を起動します。



❹ パーキングボタンで駐車状態を解除にし、ブレーキレバーを握ります。



❺ READYランプが点灯します。



❻ スロットルを開けば車両は動きます。

TIPS:

- 乗る前に、センタースタンドが格納されていることを確認してください。
- 車両は始動する前に完全に停止している必要があります。異常な状況が発生した場合は、滑走するかオートバイを安全な場所まで押してください。走行中や車線上での再始動は行わないでください。

走行に関する項目

ｃ．乗車時の注意

❶ スロットルの急な操作は控え、ゆっくりとスロットルを操作し、スピードアップします。
急加速は電気負担を大きくし電力をより多く必要とします。

❷ 安全と電力を確保する為に、バイクを走行する際は、急加速や急ブレーキを控え、制限速度内で速度を一定に保つスムーズな運転を心掛けてください。

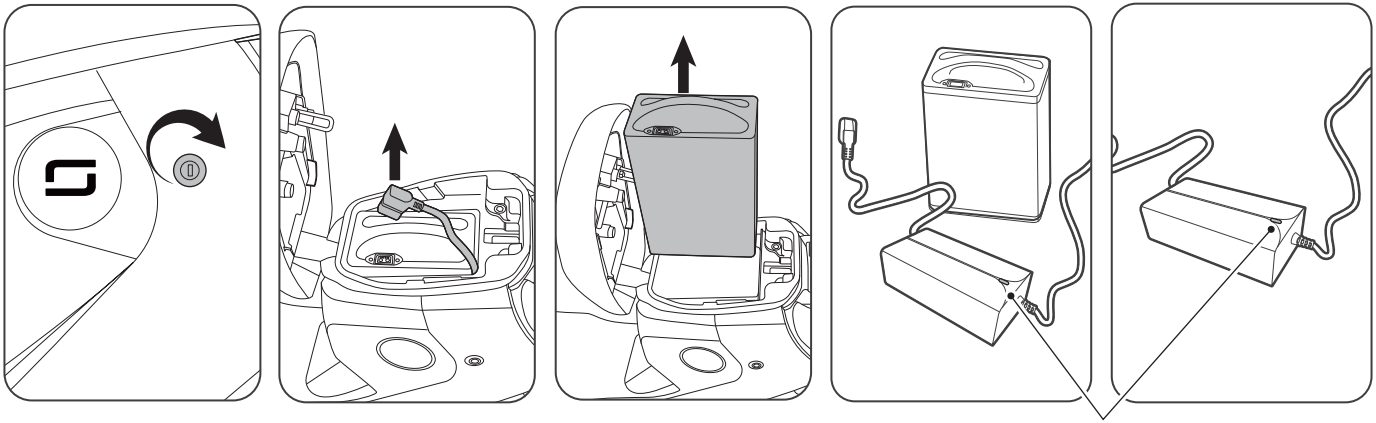
❸ 最大耐荷重は75kgです。過負荷での状態で使用しないでください。

❹ 車両を押して歩くときは、不意な飛び出しを防止するため電源をOFFにするか、パーキングボタンを押して安全に注意してください。

❺ 駐車時に電源を切り、センタースタンドを立てリモコンキーの「ロックボタン」を押してください。

バッテリーに関する注意事項

充電方法 1



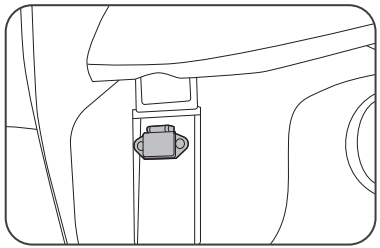
❶ シートを開きます。
❷ バッテリーのコネクターを取り外します。
❸ バッテリーを取り外します。
❹ バッテリーパックに充電器のメインプラグを差し込みます。
❺ ACプラグをコンセントに差し込むと、インジケータランプが赤色になり充電が開始されます。
ランプの色が緑色に変わると充電は完了です。

※ 充電が完了したら、速やかに接続を切り離してください。また、充電時間は12時間を超えないようにしてください。

バッテリーに関する注意事項

充電方法 2

❶ バッテリーのコネクターを差し込んだ状態で、充電器のメインプラグを車両のシートの下の充電口に差し込みます。
❷ インジケータランプが赤色になり充電が開始されます。ランプが緑色に変わると充電は完了です。



警告

バッテリーを水に浸したり洗い流す行為や、雨で濡らす行為は避けてください。
水がバッテリーコンパートメントの底の高さを超えている場合は、走行を控えてください。
水がバッテリーに入り、内部が短絡し、バッテリーが恒久的に故障する可能性があります。
この場合、車両全体またはバッテリーを再充電することはしないでください。
再充電が起因して、バッテリーが発火し、火災の原因になりますので、メンテナンスのため、すぐにMSソリューションズに連絡いただき、バッテリーを発送してください。
極端に状態が悪い場合、再充電していない状態でも内部で発火する可能性があります。

バッテリーに関する注意事項

- 充電使用温度：0～40℃、放電使用温度：-15℃～45℃。
- バッテリーは使用後に、充電する必要があります。長期間使用しない場合は、必ず車両から取り外して保管してください。
- オートバイに充電器を繋いだまま、住宅に保管しないでください。充電中は可燃物に近づけないでください。満充電になったら速やかに充電器を外してください。
- バッテリーの正極と負極の端子を繋げて短絡させないでください。
- 子供の手の届かないところに置いてください。暖房器具の近くに置かないでください。
- 強い衝撃・圧力等の外力をバッテリーに与えないでください。
- バッテリーパックの充電に他の充電器を使用しないでください。指定された充電器を使用してください。
- 夏場などの高温下のガレージ内や太陽の下で充電をしないでください。充電時シートの上など、充電器を車両の上に置かないでください。
- 充電中、表示灯の異常、異臭、充電器の筐体が異常過熱している場合は、直ちに充電を中止してください。充電器を販売店で点検または交換を行ってください。
- バッテリーと充電器は、出荷前に厳しいチェックに合格しています。絶対に分解しないでください。
- 使用済みバッテリーは許可なく分解することはできません。バッテリーの廃棄につきましては、MSソリューションズに連絡してください。

問題が発生した場合は、最寄りの販売店またはMSソリューションズにお問い合わせください。

バッテリーに関する注意事項

c．保管、保守、輸送

● 建物のロビー、避難階段、通路、および非常口に車両を駐車しないでください。
● 車両が長期間使用されていない場合(冬、夏、その他の特別な状況など)、バッテリーを取り出して保管してください。
定期的に問題が発生した場合は、最寄りの販売店またはMSソリューションズにお問い合わせください。

維持・充電を行ってください。定期的な充電を怠ると、バッテリーが完全放電し、再充電できなくなり、使用できなくなる可能性があります。このような状態のバッテリーにつきましては、保証期間内であっても保証対象外となります。

● バッテリーパックを長期間保管する場合は、バッテリー容量をを50%状態まで充電し、バッテリーを取り外してください。
過放電を防止するため、車両とバッテリーを乾燥して換気されている場所に置き、月に一度バッテリーを充電してください。
● バッテリーと充電器は、清潔で乾燥した換気の良い場所に保管し、暖房器具等の熱源から遠ざける必要があります。
● バッテリーの保管条件：周囲温度0～25℃、周囲湿度65%以下

メンテナンス

定期的なメンテナンスにより、車両の耐用年数と運転の安全性が向上します。
以下の内容を参照して、バイクのメンテナンスをしてください。

a. メンテナンス

新車は、1000km または 1か月（いずれか早い方）に達したときに、最初の点検と保守を行う必要があります。
初回点検後、3000km または 6か月（いずれか早い方）ごとに定期的な点検とメンテナンスを行うことをおすすめします。

b. 毎日の清掃とメンテナンス

洗車：水と中性洗剤を使用し、柔らかい布とスポンジを使用して表面を清掃してください。
車両や部品の表面を傷つけないように、金属ブラシ、サンドペーパーなどを使用しないでください。
清掃後、乾いた柔らかい布で車両を拭いてください。

保管：乾燥して換気されている場所に駐車して、日光や雨への露出を減らし、部品の錆びにより寿命が短くなるのを避けてください。

c. 警告

❶ 高圧洗浄機などを使用しないでください。内部の電気部品や配線が水に浸る可能性や、車両の機械的故障やイレギュラーな故障を引き起こす可能性があります。

❷ 車両を長時間保管する場合、バッテリーと車両のコネクターを外して、バッテリーの過放電防止のため、月に1回バッテリーを充電してください。

一般的な問題とトラブルシューティング

a．一般的な問題とトラブルシューティング

トラブル事例	原因	対応方法
電源が入らない、起動しない	1.バッテリー接続コネクターの差し込みが甘い 2.バッテリーの残量がない	1.コネクターをしっかり差し込む 2.バッテリーを充電する
スロットルを回しても モーターが回らない	1.バッテリー残量が少ない 2.ブレーキレバーを握っている 3.スロットルの故障 4.コントローラープラグが緩んでいる 5.コントローラー故障	1.バッテリーを充電する 2.ブレーキレバーを放す 3.スロットルを交換する 4.コントローラープラグの取付直す 5.コントローラーを交換する
速度が遅い または走行距離が短い	1.バッテリー残量が少ない 2.タイヤのパンク 3.過積載 4.ブレーキパッド 5.バッテリーの経年劣化または短絡	1.バッテリーを充電する 2.タイヤを交換する 3.適切な重量で走行する 4.ブレーキパッドを交換し、乗る前にブレーキシステムを確認する 5.バッテリーを交換する
バッテリーが充電できない	1.充電器プラグの差し込みが甘い 2.間違った充電器を使用している 3.バッテリーの経年劣化または短絡	1.プラグをしっかり差し込む 2.専用の充電器を使用する 3.バッテリーを交換する

一般的な問題とトラブルシューティング

エラーコード	原因	対応方法
エラーコード99表示	コントローラの通信エラー	MSソリューションズまたは販売店に連絡する
エラーコード98表示	コントローラが作動停止 (過電流、モーター不良、電圧不足、過熱の可能性がある)	乗車を中止し、しばらく待ってから再起動する 坂道の登りや過負荷でモーターが過負荷の状態になっている 平らで過積載で無い状態で走行する
エラーコード97表示	コントローラ内の電気的エラー	MSソリューションズまたは販売店に連絡する
エラーコード96表示	コントローラ内のホールセンサーエラー	MSソリューションズまたは販売店に連絡する
エラーコード95表示	コントローラ内のスロットルエラー	スロットルの配線接続を確認するか、 MSソリューションズまたは販売店に連絡する
エラーコード94表示	バッテリーの通信エラー	バッテリーコネクターの接続部を確認するか、 MSソリューションズまたは販売店に連絡する
エラーコード93表示	過電流の充電によるエラー	充電を停止してから充電器を確認する
エラーコード92表示	過電圧の充電によるエラー	充電を停止してから充電器を確認する
エラーコード91表示	バッテリーの高温によるエラー	充電または乗車を停止し、バッテリーの温度が下がってから再開する

一般的な問題とトラブルシューティング

エラーコード	原因	対応方法
エラーコード90表示	過電流によるバッテリーの放電	表示が消えない場合は、乗車を停止し、しばらく待つ
エラーコード89表示	バッテリーの低温による充電	バッテリーを取り出し、温かい室内で充電する
エラーコード88表示	バッテリーの低温による放電	バッテリーと車両を屋内に保管し、しばらく待つ

一般的な問題とトラブルシューティング

b．バッテリートラブルシューティング

バッテリーの状態		原因	対応方法
使用する前に	電源が入らない	バッテリーの残量がない	バッテリーを充電してください
使用中に	低電力で乗車した場合、バッテリー容量が10%を下回ると電源がオフがになることがある	バッテリーの残量がなく、低電圧保護が作動した ※異常ではない	バッテリーを充電してください
使用中に	エラーコード 88 表示	バッテリーの低温による放電	バッテリーと車両を屋内に保管し、しばらく待つ
使用中に	エラーコード 90 表示	過電流によるバッテリーの放電	表示が消えない場合は、乗車を停止し、しばらく待つ
使用中に	エラーコード 91表示	バッテリーの高温によるエラー	充電または乗車を停止し、 しばらく待ってからから再開する
使用中に	エラーコード 94表示	バッテリーの通信エラー	バッテリーコネクターの接続部を確認するか、MSソリューションズまたは販売店に連絡する
使用中に	夜間走行すると電力消費が多くなる	ディスプレイ照明は夜間点灯するため、 若干の電力を消費します。	異常ではない

一般的な問題とトラブルシューティング

バッテリーの状態		原因	対応方法
使用中に	公式発表と走行距離に差がある	公式発表の走行距離は、特定の状況でテストされています 道路状況、天候、気温、風、積載 重量などの外的要因で影響を受けます	ご不明な点はMSソリューションズまたは販売店に連絡する
保管	電源が入らない	バッテリーの保管期間が長く、バッテリーの残量がない	バッテリーを充電する。充電できない場合は、MSソリューションズまたは販売店に連絡する
充電中	エラーコード 89 表示	バッテリーの低温による充電	バッテリーを取り出し、温かい室内で充電する
充電中	エラーコード 92 表示	過電圧の充電によるエラー	充電を停止してから充電器を確認する
充電中	充電中に充電器が熱くなる	充電中は、充電器内の電流が大きく、熱を放出し、金属の筐体から熱を放出する	異常ではない 乾燥した換気の良い場所で充電器を使用する
バッテリー浸水	バッテリーを正常に使用できない 電源が入らない	バッテリー内部の浸水	使用を直ちに停止し、 MSソリューションズまたは販売店に連絡する
バッテリーケース破損	強い衝撃と落下により、 筐体に損傷と亀裂が発生した	継続使用すると筐体が損傷する	使用を直ちに停止し、 MSソリューションズまたは販売店に連絡する

お問い合わせ

バイクについてのお問い合せ・ご相談は取扱店にお気軽にご連絡ください。

取扱店

TEL

製品についてお問い合せ

XEAM事業部
事務局

TEL 092-292-5374　MAIL info_xeam@mssjapan.jp

受付時間 9:00-12:00 / 13:00-18:00（月～金）

〒810-0801 福岡県福岡市博多区中洲 5 丁目 6-24 第 6 ガーデンビル 6F
販売元：株式会社 MS ソリューションズ

XEAM 公式ホームページ：https://www.xeam.jp/　|　MS ソリューションズ公式ホームページ：https://www.mssjapan.jp/

保証書

製品保証について

保証書に記載の対象車両の保証部位に、材料上もしくは製造上の不具合等による故障が発生した場合、無償で修復させていただきます。なお、弊社の指示、承諾を得ずに改造等を行った車両については全て保証対象外とさせていただきます。
※一般的な使用用途外(レース場での使用等)についても保証対象外とさせていただきます。

保証対象部品… フレーム・フロントフォーク・スイングアーム・ホイール・リヤサスペンション・ブレーキ・ステアリング・電動機・コントローラー・走行用バッテリー・その他メーカーが定めた主要部品。

保証適用外の範囲… 外装部品・シート・消耗部品（ブレーキパッド・ブレーキシュー・タイヤ・ゴム類・油脂類等・ブレーキディスク・電球類・ヒューズ等）・その他メーカーが定めた部品

車両の譲渡について詳しくは、WEB ページをご覧ください。https://www.xeam.jp/

1カ月点検について

新車登録または届け出をされてから 1 カ月を目安に行う点検です。この時期の点検は車両寿命に影響を与えることが多いことから、新車登録または届け出をされてから約 1 カ月（または 1000 ㎞時）の点検を弊社提携店舗にて実施いたします。直営店 (WEB 販売含む) にてご購入いただいた場合は無料にてお受けいたします。有効期間を過ぎますと、有料となります。（有効期間：新規登録もしくは届け出をしてから約 1 カ月もしくは有効期間内に走行距離が 1000 ㎞を超える場合は、1000 ㎞走行時となります。）

● 1 カ月の点検内容

- 電動機の低速及び加速の状態の点検
- リム及びホイールディスクの損傷の点検
- ブレーキの利き具合の点検
- ブレーキロッド及びケーブル類の緩み、がた、損傷等の点検
- タイヤの空気圧亀裂、損傷、異状摩耗、溝の深さ
- ブレーキホース及びパイプの液漏れ、損傷、取り付け状況の点検

定期点検について

2007 年 4 月 1 日より『道路運送車両法』の改正等により、2007 年 4 月 1 日以降の新車登録車より、以下の内容での定期点検内容に変更となりました。
- 6 カ月点検の廃止
- 走行距離加味点検とシビアコンディション点検の設定

点検の種類について

● 日常点検

法律に準じてユーザー様自身で日々の車両の状況、状態に応じてユーザー様自らが適宜行う点検です。走行前、充電前、洗車前等に行ってください。
- ブレーキ（前後）レバー（ペダル）の遊び、きき具合
- ブレーキ液の量（前）
- 灯火装置および方向指示器
- 低速・加速の状態
- タイヤの空気圧亀裂、損傷、異状摩耗、溝の深さ
- 運行において異状が認められた箇所

● シビアコンディション点検

通常使用より過酷な状況で車両を使用した場合、部品の劣化や破損等が通常より早く進行してしまうケースがございます。それを早期に発見するために整備士が 6 カ月ごとに行う点検のことをさします。シビアコンディションの目安、状況については以下の通りです。
- 坂道や山道の走行が全走行の30%以上を占めている。またそれに伴うブレーキの使用が多い。
- 走行距離が半年で 3000 ㎞以上である。
- 未舗装路や凸凹道の走行が全走行の 30%以上を占めている。

※整備点検等でご不明な点は販売店、取次店にご相談ください。

保証有効期間について

☑ **店舗でご購入**　：登録日から 1 年 or 5,000km 走行時
☑ **弊社 HP でご購入**　：出荷日から 1 年 or 5,000km 走行時
※年数、km は早く到達した方を適用

ご購入日　　年　　月　　日

氏名　　様　TEL　　-　　-

〒

住所

登録番号
車名　　車台番号

メンテナンス スケジュール

コンポーネント	作業内容	1,000km または 1ヶ月 (いずれか早い方)	3,000km または 6ヶ月 (いずれか早い方)	6,000km または 1年 (いずれか早い方)	9,000km または1年半 (いずれか早い方)	12,000km または2年 (いずれか早い方)
全般	I	✓	✓	✓	✓	✓
ステアリング、操作系	I / E	✓		✓		✓
ステアリングベアリング	I / C / L	✓		✓		✓
電気系統	I	✓	✓	✓	✓	✓
ライト、スイッチ	I / E	✓	✓	✓	✓	✓
サーキットブレーカー	I	✓	✓	✓	✓	✓
ホイールベアリング	I / E			✓		✓
ホイール、リム	I	✓	✓	✓	✓	✓
タイヤ	I*			✓		✓
ブレーキ全般	I / C / E	✓		✓		✓
ブレーキオイル	E					✓
フロントフォーク	I	✓		✓		✓
リヤショックアブソーバー	I	✓		✓		✓
スロットル	I / L			✓		✓
メイン/サイドスタンド	I / C / E	✓		✓		✓
ベルト/ベルトホイール	I / C / E			✓		✓

I … Control (点検)　E … 交換　C … 清掃　L … 給油　*Check : 溝深さ / 空気圧

【 Controlについて 】

機能が正しいか確認してください。清掃や給油の指示があれば追加で行わなければなりません。エラーや欠陥が検出された場合は、修復する必要があります。
※運行前点検は上記の表に関わらず行う必要があります。

メンテナンス レコード

日付	年　　月　　日	走行距離	
ノート			
販売店			

1ヶ月点検整備記録簿（電動車）

二輪車	該当なし	／	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

●参照事項
※1 各変速モードで作動させ、うなり音等の異音の有無を確認お願いいたします。
※2 ステム緩み止めナットの状態確認要。
※3 タイヤ溝深さを確認。
※4 タイヤ規定空気圧→（前）175 ～ 200kPa /（後）200 ～ 225kPa

電動機点検

■ 本体

- [ ] 電動機の作動状態・異音の有無※1
- [/] 低速・加速の状態

ステアリング装置点検

■ ハンドル

- [ ] 操作具合

■ フロントフォーク

- [ ] 損傷
- [ ] ステアリングステムの取付状態※2
- [/] ステアリングステムの軸受け部のがた

電気・保安装置点検

■ 走行用バッテリー

- [ ] 本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■ スイッチ類

- [ ] 灯火装置・方向指示器の作用
- [ ] ホーン・ハンドルロック装置の作用
- [ ] 計器の作用

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー

- [ ] 遊び
- [ ] ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類

- [ ] 緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ

- [ ] 漏れ・損傷・取付状態

■ リザーバタンク（フロントブレーキ）

- [ ] ブレーキ液の量

足回り点検

■ ホイール

- [ ] タイヤの空気圧※3
- [ ] タイヤの亀裂・損傷の有無
- [ ] タイヤの溝の深さ・異常な磨耗※4
- [ ] ホイールのボルト・ナットの緩み

■ ショックアブソーバー

- [ ] 損傷・オイル漏れの有無

その他

- [ ] 外観樹脂パーツの損傷の有無

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品／記事等

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年　月　日
整備完了日
年　月　日
タイヤの溝の深さ
F　mm　R　mm
ブレーキパッド残量
F　mm　R　mm

点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

定期点検整備記録簿（電動車）

二輪車						
	該当なし	／	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 6 ヵ月点検整備……
●12 ヵ月点検整備……　＋
※納車時点検は 6 ヵ月点検に準ずる

電動機点検

■ 本体

- 電動機の作動状態・異音の有無
- 低速・加速の状態

ステアリング装置点検

■ ハンドル

- 操作具合

■ フロントフォーク

- 損傷
- ステアリングステムの取付状態
- ステアリングステムの軸受け部のがた

足回り点検

■ ホイール

- タイヤの空気圧
- タイヤの亀裂・損傷の有無
- タイヤの溝の深さ・異常な磨耗
- ホイールのボルト・ナットの緩み
- フロントホイールベアリングのがた
- リヤホイールベアリングのがた

■ サスペンションアーム

- 連結部のがた・アームの損傷

■ ショックアブソーバー

- 損傷・オイル漏れの有無

その他

- フレームの緩み・損傷
- シャシ各部の給油脂状態

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー

- 遊び
- ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類

- 緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ

- 漏れ・損傷・取付状態

■ リザーバタンク

- ブレーキ液の量

■ マスタシリンダ・ホイールシリンダ及びディスクキャリパ

- 機能・磨耗・損傷

■ ブレーキドラム及びブレーキシュー

- ドラムとライニングのすき間
- シューの摺動部分・ライニングの磨耗

電気・保安装置点検

■ バッテリー

- 本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■ 電気配線

- 接続部の緩み損傷

■ スイッチ類

- 灯火装置・方向指示器の作用
- ホーン・ハンドルロック装置の作用
- 計器の作用

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年　月　日
整備完了日
年　月　日
タイヤの溝の深さ
F　mm　R　mm
ブレーキパッド残量
F　mm　R　mm

点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

定期点検整備記録簿（電動車）

二輪車						
	該当なし	／	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 6 ヵ月点検整備……
●12 ヵ月点検整備……　＋
※納車時点検は 6 ヵ月点検に準ずる

電動機点検

■ 本体

- 電動機の作動状態・異音の有無
- 低速・加速の状態

ステアリング装置点検

■ ハンドル

- 操作具合

■ フロントフォーク

- 損傷
- ステアリングステムの取付状態
- ステアリングステムの軸受け部のがた

足回り点検

■ ホイール

- タイヤの空気圧
- タイヤの亀裂・損傷の有無
- タイヤの溝の深さ・異常な磨耗
- ホイールのボルト・ナットの緩み
- フロントホイールベアリングのがた
- リヤホイールベアリングのがた

■ サスペンションアーム

- 連結部のがた・アームの損傷

■ ショックアブソーバー

- 損傷・オイル漏れの有無

その他

- フレームの緩み・損傷
- シャシ各部の給油脂状態

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー

- 遊び
- ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類

- 緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ

- 漏れ・損傷・取付状態

■ リザーバタンク

- ブレーキ液の量

■ マスタシリンダ・ホイールシリンダ及びディスクキャリパ

- 機能・磨耗・損傷

■ ブレーキドラム及びブレーキシュー

- ドラムとライニングのすき間
- シューの摺動部分・ライニングの磨耗

電気・保安装置点検

■ バッテリー

- 本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■ 電気配線

- 接続部の緩み損傷

■ スイッチ類

- 灯火装置・方向指示器の作用
- ホーン・ハンドルロック装置の作用
- 計器の作用

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年　月　日
整備完了日
年　月　日
タイヤの溝の深さ
F　mm　R　mm
ブレーキパッド残量
F　mm　R　mm

点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

定期点検整備記録簿（電動車）

二輪車						
	該当なし	／	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 6 ヵ月点検整備……
●12 ヵ月点検整備……　＋
※納車時点検は 6 ヵ月点検に準ずる

電動機点検

■ 本体

- 電動機の作動状態・異音の有無
- 低速・加速の状態

ステアリング装置点検

■ ハンドル

- 操作具合

■ フロントフォーク

- 損傷
- ステアリングステムの取付状態
- ステアリングステムの軸受け部のがた

足回り点検

■ ホイール

- タイヤの空気圧
- タイヤの亀裂・損傷の有無
- タイヤの溝の深さ・異常な磨耗
- ホイールのボルト・ナットの緩み
- フロントホイールベアリングのがた
- リヤホイールベアリングのがた

■ サスペンションアーム

- 連結部のがた・アームの損傷

■ ショックアブソーバー

- 損傷・オイル漏れの有無

その他

- フレームの緩み・損傷
- シャシ各部の給油脂状態

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー

- 遊び
- ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類

- 緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ

- 漏れ・損傷・取付状態

■ リザーバタンク

- ブレーキ液の量

■ マスタシリンダ・ホイールシリンダ及びディスクキャリパ

- 機能・磨耗・損傷

■ ブレーキドラム及びブレーキシュー

- ドラムとライニングのすき間
- シューの摺動部分・ライニングの磨耗

電気・保安装置点検

■ バッテリー

- 本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■ 電気配線

- 接続部の緩み損傷

■ スイッチ類

- 灯火装置・方向指示器の作用
- ホーン・ハンドルロック装置の作用
- 計器の作用

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年　月　日
整備完了日
年　月　日
タイヤの溝の深さ
F　mm　R　mm
ブレーキパッド残量
F　mm　R　mm

点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

定期点検整備記録簿（電動車）

二輪車						
	該当なし	／	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 6 ヵ月点検整備……
●12 ヵ月点検整備……　＋
※納車時点検は 6 ヵ月点検に準ずる

電動機点検

■ 本体

- 電動機の作動状態・異音の有無
- 低速・加速の状態

ステアリング装置点検

■ ハンドル

- 操作具合

■ フロントフォーク

- 損傷
- ステアリングステムの取付状態
- ステアリングステムの軸受け部のがた

足回り点検

■ ホイール

- タイヤの空気圧
- タイヤの亀裂・損傷の有無
- タイヤの溝の深さ・異常な磨耗
- ホイールのボルト・ナットの緩み
- フロントホイールベアリングのがた
- リヤホイールベアリングのがた

■ サスペンションアーム

- 連結部のがた・アームの損傷

■ ショックアブソーバー

- 損傷・オイル漏れの有無

その他

- フレームの緩み・損傷
- シャシ各部の給油脂状態

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー

- 遊び
- ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類

- 緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ

- 漏れ・損傷・取付状態

■ リザーバタンク

- ブレーキ液の量

■ マスタシリンダ・ホイールシリンダ及びディスクキャリパ

- 機能・磨耗・損傷

■ ブレーキドラム及びブレーキシュー

- ドラムとライニングのすき間
- シューの摺動部分・ライニングの磨耗

電気・保安装置点検

■ バッテリー

- 本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■ 電気配線

- 接続部の緩み損傷

■ スイッチ類

- 灯火装置・方向指示器の作用
- ホーン・ハンドルロック装置の作用
- 計器の作用

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年　月　日
整備完了日
年　月　日
タイヤの溝の深さ
F　mm　R　mm
ブレーキパッド残量
F　mm　R　mm

点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

定期点検整備記録簿（電動車）

二輪車						
	該当なし	／	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 6 ヵ月点検整備……
●12 ヵ月点検整備……　＋
※納車時点検は 6 ヵ月点検に準ずる

電動機点検

■ 本体

- 電動機の作動状態・異音の有無
- 低速・加速の状態

ステアリング装置点検

■ ハンドル

- 操作具合

■ フロントフォーク

- 損傷
- ステアリングステムの取付状態
- ステアリングステムの軸受け部のがた

足回り点検

■ ホイール

- タイヤの空気圧
- タイヤの亀裂・損傷の有無
- タイヤの溝の深さ・異常な磨耗
- ホイールのボルト・ナットの緩み
- フロントホイールベアリングのがた
- リヤホイールベアリングのがた

■ サスペンションアーム

- 連結部のがた・アームの損傷

■ ショックアブソーバー

- 損傷・オイル漏れの有無

その他

- フレームの緩み・損傷
- シャシ各部の給油脂状態

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー

- 遊び
- ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類

- 緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ

- 漏れ・損傷・取付状態

■ リザーバタンク

- ブレーキ液の量

■ マスタシリンダ・ホイールシリンダ及びディスクキャリパ

- 機能・磨耗・損傷

■ ブレーキドラム及びブレーキシュー

- ドラムとライニングのすき間
- シューの摺動部分・ライニングの磨耗

電気・保安装置点検

■ バッテリー

- 本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■ 電気配線

- 接続部の緩み損傷

■ スイッチ類

- 灯火装置・方向指示器の作用
- ホーン・ハンドルロック装置の作用
- 計器の作用

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年　月　日
整備完了日
年　月　日
タイヤの溝の深さ
F　mm　R　mm
ブレーキパッド残量
F　mm　R　mm

点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

定期点検整備記録簿（電動車）

二輪車						
	該当なし	／	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 6 ヵ月点検整備……
●12 ヵ月点検整備……　＋
※納車時点検は 6 ヵ月点検に準ずる

電動機点検

■ 本体

- 電動機の作動状態・異音の有無
- 低速・加速の状態

ステアリング装置点検

■ ハンドル

- 操作具合

■ フロントフォーク

- 損傷
- ステアリングステムの取付状態
- ステアリングステムの軸受け部のがた

足回り点検

■ ホイール

- タイヤの空気圧
- タイヤの亀裂・損傷の有無
- タイヤの溝の深さ・異常な磨耗
- ホイールのボルト・ナットの緩み
- フロントホイールベアリングのがた
- リヤホイールベアリングのがた

■ サスペンションアーム

- 連結部のがた・アームの損傷

■ ショックアブソーバー

- 損傷・オイル漏れの有無

その他

- フレームの緩み・損傷
- シャシ各部の給油脂状態

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー

- 遊び
- ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類

- 緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ

- 漏れ・損傷・取付状態

■ リザーバタンク

- ブレーキ液の量

■ マスタシリンダ・ホイールシリンダ及びディスクキャリパ

- 機能・磨耗・損傷

■ ブレーキドラム及びブレーキシュー

- ドラムとライニングのすき間
- シューの摺動部分・ライニングの磨耗

電気・保安装置点検

■ バッテリー

- 本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■ 電気配線

- 接続部の緩み損傷

■ スイッチ類

- 灯火装置・方向指示器の作用
- ホーン・ハンドルロック装置の作用
- 計器の作用

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年　月　日
整備完了日
年　月　日
タイヤの溝の深さ
F　mm　R　mm
ブレーキパッド残量
F　mm　R　mm

点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

定期点検整備記録簿（電動車）

二輪車						
	該当なし	／	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 6 ヵ月点検整備……
●12 ヵ月点検整備……　＋
※納車時点検は 6 ヵ月点検に準ずる

電動機点検

■ 本体

- 電動機の作動状態・異音の有無
- 低速・加速の状態

ステアリング装置点検

■ ハンドル

- 操作具合

■ フロントフォーク

- 損傷
- ステアリングステムの取付状態
- ステアリングステムの軸受け部のがた

足回り点検

■ ホイール

- タイヤの空気圧
- タイヤの亀裂・損傷の有無
- タイヤの溝の深さ・異常な磨耗
- ホイールのボルト・ナットの緩み
- フロントホイールベアリングのがた
- リヤホイールベアリングのがた

■ サスペンションアーム

- 連結部のがた・アームの損傷

■ ショックアブソーバー

- 損傷・オイル漏れの有無

その他

- フレームの緩み・損傷
- シャシ各部の給油脂状態

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー

- 遊び
- ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類

- 緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ

- 漏れ・損傷・取付状態

■ リザーバタンク

- ブレーキ液の量

■ マスタシリンダ・ホイールシリンダ及びディスクキャリパ

- 機能・磨耗・損傷

■ ブレーキドラム及びブレーキシュー

- ドラムとライニングのすき間
- シューの摺動部分・ライニングの磨耗

電気・保安装置点検

■ バッテリー

- 本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■ 電気配線

- 接続部の緩み損傷

■ スイッチ類

- 灯火装置・方向指示器の作用
- ホーン・ハンドルロック装置の作用
- 計器の作用

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年　月　日
整備完了日
年　月　日
タイヤの溝の深さ
F　mm　R　mm
ブレーキパッド残量
F　mm　R　mm

点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

XEAM

ELECTRIC MOBILITY